

平成 16 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 渡辺 浩二  
 コード番号 7895  
 問合せ先 管理本部長 永田 修  
 TEL: (048)540-2624

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 2 月 20 日の決算短信発表時に公表した平成 16 年 12 月期（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1.平成 16 年 12 月期連結中間業績予想数値の修正（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日） （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 16 年 2 月 20 日発表)	38,000	300	100
今 回 修 正 予 想 ( B )	38,554	217	32
増 減 額 ( B - A )	554	83	68
増 減 率	1.5%	27.7%	68.0%
前期(平成 15 年 6 月中間期)実績	36,612	1,316	5,901

#### 2.平成 16 年 12 月期単独中間業績予想数値の修正（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 6 月 30 日） （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 16 年 2 月 20 日発表)	33,000	250	170
今 回 修 正 予 想 ( B )	33,007	228	124
増 減 額 ( B - A )	7	22	46
増 減 率	0.0%	8.8%	27.1%
前期(平成 15 年 6 月中間期)実績	32,080	649	5,213

#### 3.平成 16 年 12 月期連結通期業績予想（平成 16 年 1 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日） （単位：百万円、％）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 ( A ) (平成 16 年 2 月 20 日発表)	82,000	1,500	600
今 回 予 想 ( B )	82,000	1,500	600
増 減 額 ( B - A )	-	-	-
増 減 率	-	-	-
前期(平成 15 年 12 月期)実績	78,404	911	6,873

前回発表の連結通期業績予想の数値に変更はありません。

4.平成16年12月期単独通期業績予想（平成16年1月1日～平成16年12月31日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成16年2月20日発表）	71,500	1,000	500
今回予想（B）	71,500	1,000	500
増減額（B - A）	-	-	-
増減率	-	-	-
前期（平成15年12月期）実績	69,544	329	5,462

前回発表の単独通期業績予想の数値に変更はありません。

5.修正の理由

（1）連結中間業績・単独中間業績

国内

国内業績については、高付加価値製品の拡販や不採算製品の販売抑制・社内合理化等により順調に収益力が回復しておりますが、一方で、年初来の原材料価格の高騰を受け製品販売価格の値上げに踏み切っているものの、一部価格転嫁の遅れ等から、所期の収益目標を若干下回る見込みです。

米国

個人消費が引続き堅調に推移する中で、米国子会社の売上も順調に拡大を続け、販売量の増加による設備稼働率のアップと一昨年実施した大型設備投資の効果等も加わり、所期の収益目標を若干上回る見込みです。

中国

中国国内の売上げが引続き2桁台で伸長し、収益力も大幅に改善してきておりますが、原材料価格の高騰もあり、所期の収益目標を若干下回る見込みです。

（2）連結通期業績・単独通期業績

国内ならびに海外とも、原材料価格の値上がりが続くと予想されますが、高付加価値製品の拡販や不採算製品の販売抑制・社内合理化等が順調に進んでおり、また、製品販売価格への転嫁による業績寄与も見込まれますので、連結・単独ともに、前回発表の通期業績予想の数値に変更はありません。

以上